

株式会社UCS(8787) 2016 年 2 月期第1四半期決算発表

1. 経営成績

〔単位:百万円〕

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期 純利益
2016 年 2 月期第1四半期 (前年同期比)	4,902 (6.8%)	1,027 (55.1%)	1,028 (54.8%)	606 (81.1%)
2015 年 2 月期第1四半期 (前年同期比)	4,591 (8.1%)	662 (△10.9%)	664 (△10.8%)	334 (△26.5%)

2. 部門別概況

(1) 包括信用購入あっせん(クレジットカードショッピング)

クレジットカードショッピングは、UCS 誕生 25 周年とユニー誕生 45 周年を記念した会員向けキャンペーンの実施、ならびにポイント 2 倍デーの増加等により、グループ内での取扱いが好調に推移しました。この結果、取扱高は、1,621 億 29 百万円 (前年同期比 6.6%増)、営業収益は、32 億 20 百万円 (前年同期比 3.3%増)となりました。

(2) 融資

貸金業法改正の影響が依然として残り、引き続き厳しい状況で推移しました。この結果、取扱高は、36 億 18 百万円 (前年同期比 4.7%減)、営業貸付金残高は、123 億円 (前事業年度末比 0.5%増)、営業収益は、5 億 41 百万円 (前年同期比 9.8%減)となりました。

(3) 電子マネー

アピタ・ピアゴの直営売り場に加え、サークルKサンクス、アピタ・ピアゴ内の専門店など利用拠点の拡大により、会員数が増加したことに加え、会員向け営業企画の実施により取扱高が好調に推移しました。この結果、取扱高は、410 億 37 百万円 (前年同期比 130.3%増)、カード発行手数料等を合わせた営業収益は、4 億 56 百万円 (前年同期比 124.9%増)となりました。

(4) 保険代理業

カード会員向け通販保険、および保険ショップが堅調に推移しました。この結果、営業収益は、4 億 33 百万円 (前年同期比 4.7%増)となりました。

以上の結果、その他の収益と合わせて、営業収益は、49 億 2 百万円 (前年同期比 6.8%増)となりました。

3. 営業費用

ローコストオペレーションの徹底に加え、適正な与信管理により債権の健全化が進んだことで貸倒関連費用が減少しました。その結果、営業費用は、38 億 75 百万円 (前年同期比 1.4%減)となりました。

4. 営業利益・経常利益・四半期純利益

以上の結果、営業利益は、10 億 27 百万円 (前年同期比 55.1%増)、経常利益は、10 億 28 百万円 (前年同期比 54.8%増)、四半期純利益は、6 億 6 百万円 (前年同期比 81.1%増)となりました。